

提言「新しい時代に対応した大学教育改革の推進 -主体的な学修を通じた多様な人材の育成に向けて-」(抄)(令和4年1月18日 一般社団法人日本経済団体連合会)

1. 新しい時代への対応に向けて経済界が期待する大学教育改革

2. 新しい時代(ポスト・コロナ)に対応した教育、産学連携の推進

- (1) オンラインと対面を効果的に組み合わせたハイブリッド型教育の実現
- (2) 産学連携、産学官連携による新しい時代に求められる人材の育成

産学連携による人材育成を進めるにあたり、企業人が大学教員として活躍できる環境を整備するうえで、大学には、クロスアポイントメント制度の活用を拡大して企業との人材交流を促進することが求められる。一方、企業としても、副業・兼業のさらなる活用を進めるべきである。

加えて、大学キャンパス全体を多様なステークホルダーが関わり合い新たな価値を生み出す「イノベーション・commons(共創拠点)」として整備することも重要である。ポスト・コロナ時代を見据え、対面とオンラインを効果的に組み合わせたハイブリッドな教育に十分に対応できるハード・ソフト両面の環境整備が必要である。